

グンゼラブアース倶楽部

2023年度 活動報告



明日をもっと、**こ**こちよく

GUNZE

グンゼラブアース倶楽部 会員様へ



「グンゼラブアース倶楽部」は、2006年4月、グンゼ株式会社の創業110周年を記念し設立され、以来社会貢献活動を行っている団体への支援を続け、今年で19年目を迎えました。あらためてみなさまのご協力に感謝いたします。

これからも持続可能な社会の実現に向けて、そしてわたしたちグンゼに根付く共存共栄の精神を表現する活動としてグンゼラブアース倶楽部へのご理解とご支援を引き続き宜しくお願いします。

2024年 6月

代表幹事 岡 高広

CONTENTS

活動報告

P2

2023年 活動内容 / 決算・監査報告 / 支援先団体について

支援先紹介

P5

特定非営利活動法人 AMDA

認定NPO法人 J.POSH (日本乳がんピンクリボン運動)

認定NPO法人ブリッジフォースマイル

一般財団法人 みらいこども財団

公益財団法人 Save Earth Foundation

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会(子どもの笑顔はぐくみプロジェクト)

項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会 員 募 集	A会員												
	B会員												
実施項目		会計監査		会報発行	運営委員会 支援先選定			支援					会計確認

支出の部	
項 目	金 額
支援先への寄付	641,390
寄付金振込手数料	3,410
残高証明証手数料	1,100
支出計	645,900
※次期繰越金	483,294

負債・剰余金の部	
科 目	金 額
次期繰越金	483,294
負債・剰余金計	483,294

氏名 高 山 新

■支援先団体について(計7団体)

2023年度は7団体に対して合計1,282,780円の支援を実施いたしました。

- AMDA様通じて令和6年 能登半島地震の被害への支援を実施しました。
- 京都モデルフォレスト協会、緑の募金への協力を実施しました。(ゲンゼは協会の法人正会員です)

支援先	支援回数	物品支援
AMDA	15	肌着
J.POSH	12	肌着
ブリッジフォースマイル	8	肌着
みらいこども財団	6	肌着
滋賀県社協 地域福祉課はぐくみ	1	肌着
Save Earth Foundation	4	苗木
京都モデルフォレスト協会	1	募金

本業を活かした持続可能な支援という方向性に基づき、2023年度におきましてはゲンゼの事業やサービスを活用し、支援先6団体への支援及び1団体への募金を実施いたしました。会員の皆さま、誠にありがとうございます。

今後も会員の皆さまのご意見をいただきながら、よりよい支援活動ができるよう運営してまいりますので、これからも変わらぬご支援をお願いいたします。

ゲンゼラブアース倶楽部 事務局

特定非営利活動法人 AMDA (アムダ)

■令和6年 能登半島地震の被害への支援を実施

2024年1月1日午後4時10分頃、石川県能登半島を震源とする最大震度7の地震が発生。AMDAは地震発生直後から情報収集を開始されました。

グンゼラブアース倶楽部は1月16日にAMDAより支援の依頼を受け、翌17日に暖かい肌着を贈ることに決定。19日にはグンゼ物流(株)宇都宮センターより紳士・婦人肌着、300枚を出荷しました。

1月22日にAMDA本部に届いたグンゼの肌着は、31日に食料など他の支援物資とともに岡山を出発し、2月1日に避難所となっている輪島市立輪島中学校に到着。

グンゼの肌着は輪島中学校を中心に渡されたそうです。

雪が降ることもある寒さのなか、支援が行き届かない避難生活を送る被災者の方たちに、暖かい肌着は大変喜ばれたそうです。



公益財団法人 Save Earth Foundation

■「第7回 みどりとふれあう植樹会 in 日向の森」に参加

グンゼラブアース倶楽部が支援している公益財団法人Save Earth Foundation(以下SEF※)ほか、山武市、千葉県森林組合、NPO法人元気森守隊、ワタミ株式会社などが協力し行っている「みどりとふれあう植樹会」に参加してきました。この活動は「グリーンウェイブ活動※」の一環として行っており、今回で7回目を迎えるそうです。

グンゼラブアース倶楽部を通じてグンゼグリーンに手配していただいた苗木175本をSEFさんへ寄贈しており、今回その苗木の植樹に立ち会う形となりました。晴天に恵まれ、広大な日向の森の一面にコブシ、ケヤキ、コナラ、イロハモミジ、コムラサキシキブなど広葉樹の苗木を総勢106名で植え込みました。

SEFさんへの苗木寄贈は今回で4回目となり、過去に日向の森に植樹された木々もすくすくと育っていました。



公益財団法人 京都モデルフォレスト協会

■緑の募金へ協力

京都府の「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、公益社団法人京都モデルフォレスト協会は緑化推進委員会の指定を受け、京都の豊かな森と緑を次世代へ繋いでいくため積極的な募金活動を展開しています。

グンゼは社団法人京都モデルフォレスト協会と「森林の利用保全に関する協定」を締結し、創業の地・綾部の市内2カ所で竹の伐採や遊歩道の整備など、里山保全のボランティア活動を協力して行っています。

集まった募金は森林を守り育てる活動に活かされます。



※グリーンウェイブ活動:国連が「国際生物多様性の日(5月22日)」に世界各地で植樹祭を実施することを定めた活動のこと。環境省、農水省、国土交通省等、植樹や森林づくりをした活動を促進するために「グリーンウェイブ2017」と表して、様々な団体に活動の参加を呼びかけし、SEFは2017年千葉県のグリーンウェイブ活動より参加し、今年で7回目を迎えます。



能登半島地震復興支援活動



能登半島地震復興支援活動

仙台夜まわり

■2023年度活動報告

2023年度の緊急支援活動では、能登半島地震、ウクライナ人道支援、フィリピン火災、モロッコ地震、西ネパール地震へ医療と物資の支援をしました。海外の長期事業ではインド母子保健、モンゴル医療技術、カンボジアプロダクティブヘルスを実施し、復興事業として東日本復興支援、トルコ地震復興支援を行いました。

グローバル人材育成においてAMDA中高生会事業を実施し、そのほかに南海トラフ災害対応プログラム、子ども食堂事業を行いました。

■今後の活動予定について

国内外の医療人道支援活動を実施し、平和を阻害する戦争・災害・貧困に苦しむ人々を支援していきます。

災害緊急支援活動をはじめとし、ウクライナ人道支援、能登半島地震復興支援、東日本復興支援を行います。

カンボジア、インド、モンゴル、ネパール、バングラディシュ、で健康増進事業、南海トラフ災害対応プラットフォーム事業においては備蓄食料の確保、防災訓練、医療機関との連携強化を行います。

継続して子ども食堂事業、AMDA中高生会教育支援事業を実施します。

■ゲンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

能登半島地震の避難者に北陸の厳冬を過ごせるよう肌着を支援しました。また、子ども食堂に参加する小学生を中心としたこ

どもたちにゲンゼの肌着を提供しました。

男女別、サイズ別の肌着の箱から子どもたち自身がサイズを確認しながら選んだり、お母さんと一緒に選んでいました。東北の震災ホームレスの方に、シャワー・洗濯と乾燥機使用の提供のときにゲンゼの肌着を支援しました。

■ゲンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

能登半島地震の災害緊急支援活動では、発生まもなく素早くご支援をいただき厚く感謝申し上げます。ゲンゼの肌着は、こどもから大人まで幅広い年齢に喜ばれ安心して使っていただいています。

ゲンゼラブアース倶楽部様の心温まるご支援の肌着をお届けすることができましたこと本当にありがとうございました。

特定非営利活動法人
AMDA(アムダ)

<https://amda.or.jp>

〒700-0013

岡山県岡山市北区伊福町3-31-1

TEL 086-252-7700

AMDA



他人事だと 思っていないか？

日本人女性の
9人に1人が
生涯に**乳がん**に
なると言われています
女性のがん罹患率【1位】

乳がんは
30代から増え始め
40~60代がピークです

でも乳がんは
早期発見・治療で
生存率が高まります

乳がんってどんな病気？

① 乳がん罹患患者数は、**女性がかかるがんの第1位**です。
乳がんは、主に乳房の乳腺組織から発生するがんです。乳腺組織は、乳管と乳小葉から構成されています。乳管は、乳を分泌する管で、乳小葉は、乳を分泌する組織です。乳がんは、乳管や乳小葉の細胞が異常増殖し、がん細胞として増え続ける病気です。

② 乳がんは**早期発見・早期治療**でほとんどが治るがんです。
乳がんは、早期発見・早期治療でほとんどが治るがんです。乳がんは、早期発見・早期治療でほとんどが治るがんです。

③ 乳がん患者さんの約半数が自分で発見に気づいています。

しこり
2cm
1cm

乳がんは、乳房の乳腺組織から発生するがんです。乳腺組織は、乳管と乳小葉から構成されています。乳がんは、乳管や乳小葉の細胞が異常増殖し、がん細胞として増え続ける病気です。

ブレスト・アウェアネスって？

乳がんを予防するだけでなく、乳がんの早期発見・早期治療に役立つ情報を提供することです。乳がんは、早期発見・早期治療でほとんどが治るがんです。乳がんは、早期発見・早期治療でほとんどが治るがんです。

☆自分の乳房の状態を知るためには**乳房セルフチェック**を

真ん中（乳首）を触る
乳首の周囲を触る
乳首の下を触る
乳首の上を触る
乳首の外側を触る
乳首の内側を触る
乳首の下を触る
乳首の上を触る
乳首の外側を触る
乳首の内側を触る

■2023年度活動報告

ブレスト・アウェアネスの啓発と乳房セルフチェックの方法を説明する「啓発ティッシュ」を無償提供する「啓発ティッシュ配りキャンペーン」を実施しました(23年度18万個)。

その他、ピンクリボン啓発パネルと共に乳房触診モデルを無償貸出(23年度118か所)や、通常の各プログラムなどを行いました。

■今後の活動予定について

2024年の「奨学金まなび」は75名、「啓発活動助成金」は約40団体に支給することになっています。

2024年も実施予定の啓発ティッシュ配りキャンペーンの無償提供個数は20万個とし、応募締め切りは8月中旬を予定しています。

乳癌で手術をされた方とご家族を温泉宿泊にご招待する家族で湯ったりキャンペーンも、例年同様に実施を予定しています。

■グンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

2023年に賜りましたメディキュアインナー100着につきましては、患者会3団体に、30着1団体、35着2団体に分割してお送りしました。

皆さまから「GUNZEさんの肌着は肌触りがよくて気持ち良いで

すね」と、喜びのお声も頂いています。

■グンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

たくさんある乳がん患者会の中から送付先を選んでいきます。患者会に送付する旨を連絡すると、既にメディキュアをご存知の患者さんも多く、いつも大変喜ばれます。

お送りする患者会様には、グンゼラブアース倶楽部さんから寄附して頂いたものである事はお伝えしています。

毎年、頂戴できます事、感謝申し上げます。

認定NPO法人 J.POSH
(日本乳がんピンクリボン運動)

<https://www.j-posh.com>

〒538-0043
大阪府大阪市鶴見区今津南2-6-3
TEL 06-6962-5071





アトモ_クリスマスパーティー



アトモ_クリスマスパーティー



居場所事業_巣立ち支援



居場所事業_巣立ち支援



アトモ_バーベキュー2023

■2023年度活動報告

児童養護施設や里親家庭を巣立った若者等が気軽に立ち寄れて相談もできる居場所として6月に「せたエール」(世田谷区)、1月に「&Youあきば」(浅草橋)を開設。横浜、佐賀、熊本、江戸川区と全国6カ所となりました。メンタル面の課題を抱える支援対象者の増加に伴い、心理職も配置するなど医療連携もスタートしました。

■今後の活動予定について

今年の4月から改正児童福祉法の下、「社会的養護自立支援拠点事業」制度が始まり、虐待経験がありながらも公的支援につながらなかった若者も対象とし、就労、居場所等の支援以外にも、ショートステイ、家事サポート等、メニューの拡充も図ります。さらに、北海道、豊島区からも拠点事業を受託し、相談支援事業をスタートさせます。

■ゲンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

ご寄付いただいた製品は、18歳(高校卒業)で施設や里親家庭を巣立つ子ども達に団体の寄付仲介サイト「トドクン」を通じてプレゼントしました。

親を頼れない環境での一人暮らしに向けて生活用品一式をそろえる必要があり、貴社のような生活必需品の贈り物は経済的な負担の軽減だけでなく、新生活に向けた応援にもなります。

■ゲンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

初めての不安でいっぱいの一人暮らしのスタートに、貴社からの応援の品と共に暖かなお気持ち子ども達の励みになります。継続的なご支援、誠にありがとうございます。

認定NPO法人ブリッジフォースマイル

<https://www.b4s.jp>

〒107-0062

東京都港区南青山3-1-30 PASONA SQUARE

TEL 03-6842-6766





大阪博愛社さまへ寄付させていただきました



ボランティアアワード受賞者



大阪支部

■2023年度活動報告

2023年度は関東・関西20の児童養護施設様に毎月200名のボランティアが訪問して子どもたちと一緒に遊んだり、勉強を教えたりしました。

また、オンラインを使ったボランティア活動は、四国、九州などに広がり、毎月10施設で行いました。

そのほか施設を卒業した学生の支援を30名に行いました。

ティアアワードの優秀ボランティアに対してプレゼントとして活用させていただきました。

■ゲンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

児童養護施設さまも下着の寄付は本当に助かると喜んでいただいています。また、ボランティアからも企業様から応援いただけることがやりがいにつながるという声も多数あがっています。

これからも応援よろしくお願いします。

■今後の活動予定について

支援先児童養護施設を40施設、支援する子供を2000人に増やすことを目標にし、オンラインを使って全国の児童養護施設を対象にダンスや手品などのイベントを開催して支援先を増やします。

さらに遊び支援から学習の支援へと、より子どもが独り立ちできる支援を行います。

■ゲンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

2023年寄贈いただいた商品は児童養護施設、神戸真生塾、大阪博愛社様の子どもたちに寄付いたしました。

また、毎月子どもたちの支援にかかわっているボランティアの中でも特に活躍したボランティアクルーを表彰する23年度ボラン

一般財団法人
みらいこども財団

<https://miraikyousou.com>

〒540-0026

大阪府大阪市中央区内本町2-4-16

オフィスポート内本町 1108号

TEL 050-3530-1083





■2023年度活動報告

私たちは、森林の再生保全、森林資源の利活用、森林環境教育を行うことで、自然の恵み豊かな社会の実現を目指しています。今年は新型コロナウイルスによる影響もほぼなくなり、国土緑化推進機構のガイドラインに準拠した森林ボランティア活動の企画運営に努める中で、多くのボランティアの方にご参加いただきました。その成果として、2023年度は、総勢426人の方にご参加いただいております。

と協定を締結し森林再生保全活動を行う「日向(ひゅうが)の森(千葉県山武市)」にて、2024年5月18日(土)に植樹会を開催し、植樹いたしました。

杉の人工林から、針広混交林へ移行し、天然林に近い環境を整え、生物多様性の保全を図ることを目指しており、グンゼ様からの広葉樹の苗木寄贈は大変感謝しております。

■グンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

本年も苗木をご寄贈いただきましたおかげで大変盛況な植樹会を開催することができました。参加者同士の交流の機会にもつながる植樹会を通して、森林の大切さを伝え、長く関わっていただける豊かな森づくりを行いたいと思います。

苗木の寄贈に感謝申し上げます。

■今後の活動予定について

現在、森林保全協定を締結している5地域7か所(約86h)の森の他、新たに陸前高田市と森林に関する協定を締結しました。スギやヒノキの人工林では間伐、植樹、下草刈、枝打ち等の活動を行う再生保全活動に加え、里山林では生態系が保全された森づくりを目指しています。また、今年度より会員企業を対象にした森林の勉強会を開催し、企業が森林に関わる環境づくりを行います。

次世代の育成として小中高を対象にした自然について学ぶ森林環境教育にも力を入れて活動していきます。

■グンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

ご支援いただきました広葉樹の苗木計175本は、千葉県山武市

公益財団法人
Save Earth Foundation

<https://save-earth.or.jp>

〒144-0043

東京都大田区羽田1-1-3 大鳥居京急第一ビル

TEL 03-5737-2744



美しい地球を子どもたちに残したい

公益財団法人 Save Earth Foundation



■2023年度活動報告

子どもを真ん中においた地域づくりに、いろいろな形で参加して下さる方を増やしていく『子どもの笑顔はぐくみプロジェクト』の“子どもの笑顔”のスポンサー拡大や子ども食堂の開設支援・運営サポートなどの支援を行いました。また、子ども食堂フェスタなどのイベントの開催を通じた広報啓発活動を実施しました。

■今後の活動予定について

本年度は、引き続き子どもを真ん中においた地域づくりを継続してサポートできるよう、“子どもの笑顔”のスポンサーの拡大や子ども食堂フェスタ(8月・11月開催)、各種イベントでの広報啓発活動を実施します。また、子ども食堂が安心・安全に運営できるように、研修・交流会の実施や各種助成、食材・物品の提供などのサポートを実施します。

■ゲンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

ゲンゼラブアース倶楽部様からいただきましたご寄付は、滋賀県内のひとり親家庭等サポート団体や子ども食堂実施団体を通じて、必要とされるご家庭にお届けいたしました。成長期

のお子様の下着などはあっという間にサイズアウトしていきますので、物価高騰で家計が大変なご家庭も少なくないなか、皆様に大変喜んでいただきました。

■ゲンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

子ども食堂等の子どもを真ん中においた地域づくりは、すべての人々を大事にしあう地域をつくっていく営みであると感じています。その地域の営みへのご理解と継続的なサポートをいただけることに心より感謝申し上げます。

**社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会
(子どもの笑顔はぐくみプロジェクト)**

<https://shiga-hug.jp/>

〒525-0072

滋賀県草津市笠山7丁目8番地138号

県立長寿社会福祉センター内

TEL 077-567-3924

子どもの笑顔 はぐくみプロジェクト



平素より、当倶楽部の活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。
引き続き、ご協力賜りますようお願いいたします。
グンゼラブアース倶楽部は、随時新規会員を募集しております。ひとりでも多くの
方々に活動のご理解をいただくことができますようお声がけをお願いいたします。